

令和 7 年度（令和 6 年度対象）  
教育委員会事務の点検及び評価に関する  
報告書

令和 7 年 9 月  
坂東市教育委員会

## 1 趣旨

本市では、坂東市総合計画「ばんどう未来ビジョン」第2期戦略プランにおいて、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、基本方針に定める「ひとづくり」に関する部分をもって、「坂東市教育に関する大綱」としており、本方針に基づき各種の施策・事務・事業に取り組んでいるところです。

教育委員会は、教育に関する事務の管理及び執行状況について、外部の知見を活用して点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、毎年公表することとしております。

こうしたことから、坂東市教育委員会が市民の皆様への説明責任を果たし、信頼される開かれた教育行政を推進するとともに、教育行政の質の向上と効率化を図るため、教育委員会事務の点検及び評価を実施しましたので、その結果を報告するものです。

## 2 点検評価の対象

点検評価の対象は、令和6年度に坂東市教育委員会が行ってきた37項目の主要事務事業です。

## 3 点検評価の方法

- (1) 点検評価に当たっては、「坂東市教育委員会事務点検及び評価実施要綱」の規定に基づき、当該事務の目的などを考慮して総合評価を行い、今後の対応方向を示しました。
- (2) 点検評価の客観性や市民目線での評価を確保するため、2人の事務点検評価委員から様々なご意見をいただきました。

## 4 点検結果

点検及び評価結果一覧表のとおり

## 5 坂東市事務点検評価委員の意見

### (1) 防犯・交通安全

#### ○学校安全巡回業務

- ・学校安全巡回員については、シルバー人材センターに登録されている会員の方であるため、年齢層が高く防犯対策としては多少懸念があることや、人員確保等に課題はあるものの、講習等を通じて学校安全巡回員の人材育成を図り、子どもたちの安全確保と教職員の負担軽減に努めていただき、今後とも継続して実施いただきたい。

#### ○通学用ヘルメット支給事業

- ・登下校時に児童・生徒が被害に遭う交通事故が全国的に後を絶たない現状もあることから、児童・生徒個々の事情や保護者からの要望も踏まえ、引続きヘルメットの着用等により安全確保に努めていただきたい。  
但し、熱中症や頸椎部への負担等により、着用に反対する保護者も多いことから、ヘルメット着用に関しては義務化していないことや個別の要望事項を学校と協議し柔軟な対応をしていることを保護者に周知徹底いただきたい。

### (2) 地域文化継承

#### ○文化財保護事業 埋蔵文化財調査事務

- ・近年、火災や災害による文化財の消失等が全国でも後を絶たないことから、文化財の適切な保護のための継続的な支援と埋蔵文化財の調査や保護に引き続き努めていただきたい。  
また、専門職員の確保が喫緊の課題ではあると思うが、専門職員の確保は容易ではないことから、担当職員についても知識習得のための研修参加や近隣自治体で専門職員がいる市と情報交換体制を構築するなど検討いただきたい。

#### ○逆井城跡公園管理

- ・長期的な修繕計画に基づき史跡公園にふさわしい管理や文化財の保護、また、市民の憩いの場としての利用は勿論のこと、フィルムコミッション等を通じた観光資源としての利活用にも引続き努めていただきたい。

### (3) 芸術・文化

#### ○坂東郷土館ミュージズ管理運営事業

- ・郷土の歴史や文化財、美術作品、資料などの調査、研究を進め、その成果をオリジナリティ溢れる企画展として開催するとともに、観光資源としても引き続き全国にその魅力を発信していただきたい。

また、企画展の開催に際しては、利用者の安全・安心を一番に考え、限りある予算のなかで施設、設備の計画的な維持管理にも努めていただきたい。

なお、坂東郷土館ミュージズ管理運営事業に係る修繕予算等に係る課題については、財政部局との調整の他、寄付金やクラウドファンディング等活用することなども検討いただきたい。

#### ○文化振興事業団運営事業

- ・文化ホールは坂東市の芸術文化発信を担うリーダー的存在でもあることから、今後もホールの特性を生かしたクラシックコンサートを中心に企画しながらも、より幅広い年齢層を集客するために、音楽業界の動向等について情報収集し事業展開を実施いただきたい。

また、ホールの老朽化に伴う修繕については、寄付金やクラウドファンディングなどを活用することも検討いただきたい。

### (4) 幼児教育

#### ○幼稚園施設管理業務、幼稚園施設整備事業

- ・園児が減少するなかでも、保護者が安心して預けられるよう園舎等の計画的維持管理、設備、機器の保守管理等に努めていただくとともに、

限られた予算のなかで庭木の枝切りや草取りなど自分達でもできる範囲のことはやっていただき、施設の維持管理に努めていただきたい。  
また、今後は統廃合も検討いただきたい。

## (5) 学校教育

### ○通学バス運行業務

- ・児童の利便性と安全確保の観点から運転手の確保等各課題はあるものの運行の継続に努めていただきたい。また、将来の学校の統廃合等も見据えた運行についても引続き検討いただくとともに、民間バスとの料金負担のあり方等（負担金の値上げや世帯毎の負担金から利用児童毎の負担金への変更等）についても引続き検討いただきたい。

### ○学校図書購入事務

- ・活字離れと言われている昨今、小学校低学年から読書を習慣とすることは大変重要なことですので、各学校図書館が図書標準冊数の基準を満たし、子供達が楽しめるような図書が充実されるよう今後も努めていただきたい。

### ○学校教材購入事務

- ・各学校とも、多様化する教育現場に対応するべく、計画的な教材備品の購入・更新を図り、教育環境の整備・充実に今後も努めていただきたい。  
また、経費削減のためにも例えば各校で教材を共同使用するなども検討いただきたい。

### ○介助補助員配置事業

- ・学校における障害児の安全確保や教職員の負担軽減の観点から、今後益々重要な事業となりますので、適切な人員の確保と介助補助員の資質向上、意識向上に努めていただき、きめ細かい教育支援を図っていただきたい。

○要保護・準要保護児童生徒就学援助及び特別支援教育就学奨励業務

- ・ 多国籍化する児童・生徒世帯への援助費の給付や周知については、困難な状況もあると感じておりますが、一層の事業周知・給付に努めていただきたい。また、特別支援教育就学奨励費の支給については、対象の保護者の負担軽減に資する事業であるため、今後とも継続いただきたい。なお、申請を利用する世帯を減らす根本的な対策について、他の部署とも連携し検討いただきたい。

○小中学校施設管理業務、小中学校施設整備事業

- ・ 市内学校施設については老朽化が進んでおり、児童・生徒の安全確保のため、学校施設や設備の計画的な点検、補修に努めていただくとともに、学校の統廃合も検討いただき、季節的な使用に限られているプールについては、市営プールの統合的な利用等についても今後検討いただきたい。

○学校給食センター運営

- ・ 施設の老朽化に伴い、長寿命化を含めた新たな運営方法を検討いただきたい。また、より一層の地場産食材を活用した給食の提供を可能とするため、例えば調理員を増員するなど対策を実施することで、今後も安全安心な給食の提供を継続いただきたい。

○家庭教育学級

- ・ 現在の子供達の傾向や課題を分析し、傾向を踏まえた外部専門家の講話等についても検討いただき、今後も子育てに悩む保護者のためにも継続して状況に応じた学習機会の確保に努めていただきたい。

○訪問型家庭教育支援事業

- ・ 不登校児童・生徒の原因の分析や必要な時に必要な支援が届くように支援員の資質向上及び確保に努めていただき、不登校の児童・生徒に苦慮する家庭への支援を引き続き実施いただきたい。

#### ○教職員等人権教育研修会

- ・コロナ禍以降参加人数を制限、規模を縮小して開催することにより、能動的なワークショップ型の学習会を開催、結果として人権課題に対してより理解を深めることができると思うので、課題に対して統一理解ができるよう引き続き継続いただきたい。

#### ○外国語指導助手配置事業

- ・A L Tの資質の向上や効果的な活用により、児童生徒の更なる語学力の向上を図り、A L Tを通して外国の文化や習慣などに慣れ親しみ興味を持つことで、グローバル人材の育成、国際教育の推進に引き続き務めていただきたい。

#### ○教育支援センター運営

- ・不登校児童・生徒個々にカリキュラムを作成しきめ細かい指導については今後も継続いただき、一人でも多くの不登校児童・生徒が学校に復帰できるよう努めていただきたい。  
また、指導員の確保については、報酬を引き上げる等対策いただきたい。

#### ○T T 特別配置事業

- ・非常勤講師の確保という課題はあるものの、児童・生徒の学力の向上を図るため、引き続き講師の資質向上やきめ細やかな指導に努めていただきたい。

### (6) 青少年健全育成

#### ○放課後子ども教室事業

- ・指導員の高齢化等課題はあるものの、児童・生徒の放課後の安全な居場所づくりと学習機会の提供に努めていただきたい。  
また、放課後子ども教室は異なる学年での交流の場にもなっているので、そこから得られる学びを教育現場にフィードバックいただきたい。

#### ○青少年センター業務

- ・ SNS における青少年の被害防止に取り組むなど実状に応じた青少年の健全育成に努めたことは評価できるので、今後は他の青少年健全育成を目指す団体との連携や交流についても推進いただきたい。

また、定期的な商業施設等の青少年が集まりやすい場所へのパトロールなど引続き実施いただきたい。

#### ○青少年育成団体支援業務

- ・ 「110 番の家」普及啓発事業について、「110 番の家」の掲示物が貼られている場所を子供たちがきちんと認識しているか実態等について確認いただきたい。

また、事業全般について、毎年同じ事業が継続されているように感じられるので、支援団体等とも協議し、現在の青少年育成にあった支援のあり方について検討いただきたい。

#### ○青少年の健全育成業務

- ・ 高校生ボランティアに中学生ボランティアが統合され、異年齢交流が提供できたことや他団体との共同ボランティアを実施するなど活動の幅が広がったことは評価したいが、依然として会員や活動の参加人数が少ないことから、事務局とボランティア会員とが話し合い、今後の運営方法や会員募集方法などを事務局が中心ではなく、会員目線で検討いただきたい。

#### ○中学生イングリッシュキャンプ

- ・ 英語学習に対する興味関心を高め、学習意欲の向上を図るうえで、参加者から高い評価を受けている事業であるため、今後も継続して実施いただきたい。

また、参加者の学びや経験を参加者以外にも伝える取り組みについても検討いただきたい。

## (7) 生涯学習

### ○公民館講座

- ・趣味でつながる人間関係は非常に大切であることから、今後もニーズに応じた特色ある事業や魅力ある事業を開催いただきたい。
- また、受講が少ない層（高齢男性、若年層）向けの講座開催についても、時間帯、ネーミング等を工夫するなど検討いただきたい。

### ○公民館まつり

- ・岩井公民館まつりは、公民館講座修了後の自主グループや公民館を活動の拠点とする団体における学習成果の貴重な発表の場であることから、団体等ができる限り参加できるよう工夫し、今後も継続いただきたい。

### ○学校図書館支援センター推進事業

- ・学校図書館協力員による図書の読み聞かせ等が実施されるなど、児童生徒の読書活動や学習活動を推進するために大いに役立っているので、今後も子供たちの図書の傾向の把握や協力員の人材確保に努めながら継続いただきたい。

### ○図書館資料購入事業

- ・利用者の多様化するニーズに応える図書の収集について、限りある予算のなかで選抜することは大変困難なことと思いますが、各協力団体の支援や他の図書館等との連携を図りながら図書の提供に努めていただきたい。

### ○図書館催事事業

- ・催事については、以前からの参加者に加え、新たな参加者も増えているということなので、この機会に多くの利用者が楽しめる企画（おはなし会や人形劇、映画会等）を今後も積極的に実施いただき、市民が足を運びたくなるような図書館づくりに今後も努めていただきたい。

## (8) スポーツ・レクリエーション

### ○坂東市スポーツ協会運営

- ・加盟団体主催のスポーツ大会への参加について、以前は運動やスポーツに親しみのない方や競技初心者が気軽に参加できない雰囲気があるなど課題があったが、ボッチャなどレクリエーション的な気軽に参加できる取組みを実施するなど課題改善に向けた取組も実施されているので、今後も引き続き参加者からの意見を聞きながら、若い人から高齢者まで楽しめるような各種スポーツ事業を実施いただきたい。

### ○体育施設整備事業、体育施設管理業務

- ・多岐にわたる施設の整備や管理、限られた予算のなかでも利用者が安全・安心に利用できるよう、施設及び設備の整備、維持管理に今後も努めていただきたい。

また、今後増大する修繕費等の確保について、施設利用者に寄付を呼びかけることやクラウドファンディング等の活用を検討するなど工夫いただきたい。